地域の達人たち

file no.5

武山利子（たけやまりこ）さん

地域に根付く地元のプロにインタビュー
5回目は石巻の「まぼいガガさん」武山さん

「自然を愛し、未来の郷土づくりで地域に貢献する」

武山さんは建設会社の役員と、宮城建設女性の会2015会長を兼任しています。二つの面から達人を紹介します。

●地域と一緒に未来へ向かう

あの日、大津波で自宅が流失し茫然とする中、夫や息子や社員は被災現場へ急行した。雪が降る中で夕闇に消えて行く後姿を胸が潰れる思いで見ていました。「ご遺体安置のためベニア板でお棺も作った。あの時は建設会社の範疇を越え何でもしたんです。」食べ物も無い中で、よく社員の心が折れなかったと思う。4月のある日、泥を被った灰色の土手で黄色いスイセンを見つけた。「あっ、咲いてる、咲いてる。」自分達が地域と一緒に未来に向かっていることに気付いたのです。

自宅付近。すべて流されました。

●そしてキレイな花が咲く

女性の会の会長としての武山さん。「堤防維持、除草作業、跡片付け等、現場を下支えする多くの女性達のおかげで工事は進むのです。」安全で清潔な女性が働きやすい職場づくりを心に決めています。

約30年前から女性だけで「魔のアラ探し隊」を結成し、工事現場を巡回指導しています。男の人達は「容赦ないね」って嫌がるけど、「妥協なく、丁寧に育てることで、花はキレイに咲くでしょ。」そう言い返して絶対に譲らないそうです。

魔のアラ探し隊はいい笑顔の時ほどキビシイのです。

CHECK!

心残りは「大切な思い出がいっぱい刻まれた時価30万円の指輪。」津波で流出してしまったそうで、見つけてくれたら3倍出しても（冗談）取り戻したいそうです。